

## 雪みちでの歩行者転倒事故の現状



### ひと冬に1,000人以上が救急搬送されることも!

札幌市では平成16年12月1日から平成17年3月末の期間、この10年間では最も多い、1,009人が転倒事故で救急搬送されました。この搬送された人は、雪みちで転んでいる人の氷山の一角でしかないと思われま

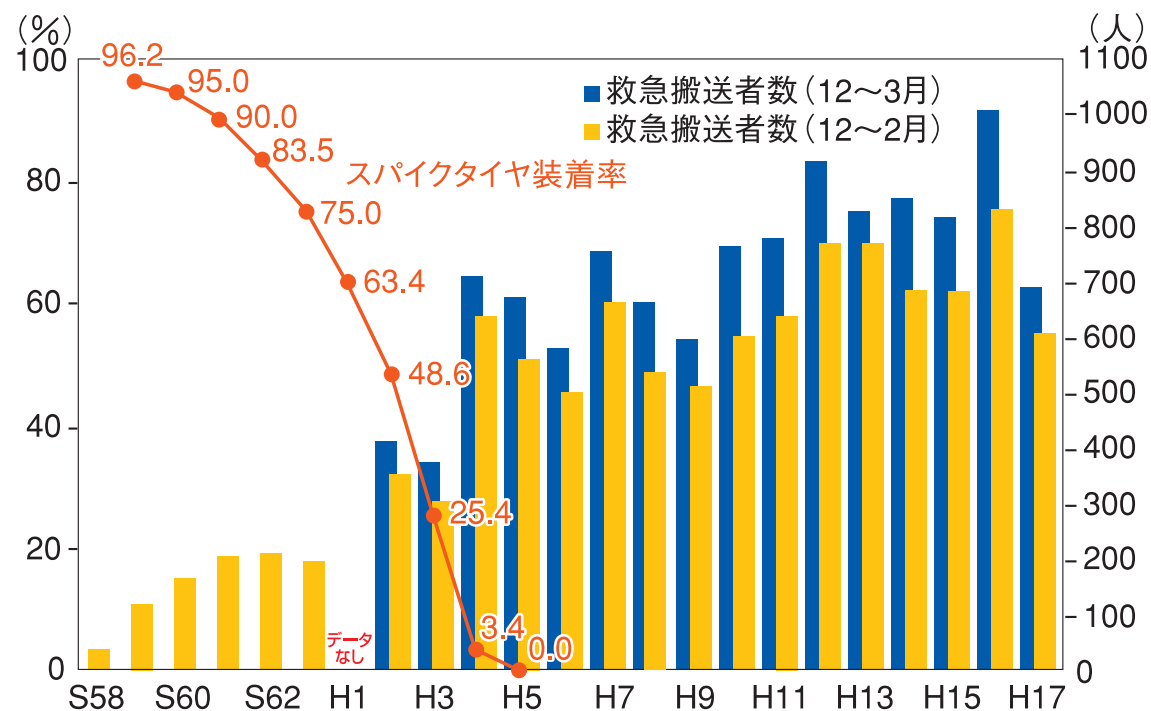
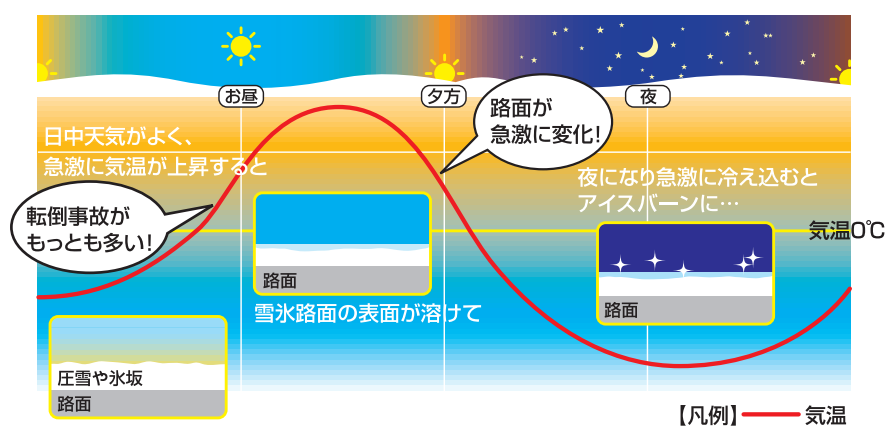


図 札幌市における冬期歩行者転倒事故による救急搬送者数とスパイクタイヤ装着率の推移 (札幌市消防局資料による)

ひと口メモ

- 厳しい冷え込みの時よりも、-2℃前後の時につるつる路面ができやすくなります。
- 朝9時~10時の時間帯や急激に冷え込む夕方5時以降の時間帯は、転倒事故が多いので注意が必要です。



### 高齢者の転倒事故は重症につながるケースが多く深刻化。

転倒事故は年齢が高くなるほど発生割合が高くなっています。また、年齢が高くなるほど重症となる割合が増え、大ケガにつながる傾向にあります。

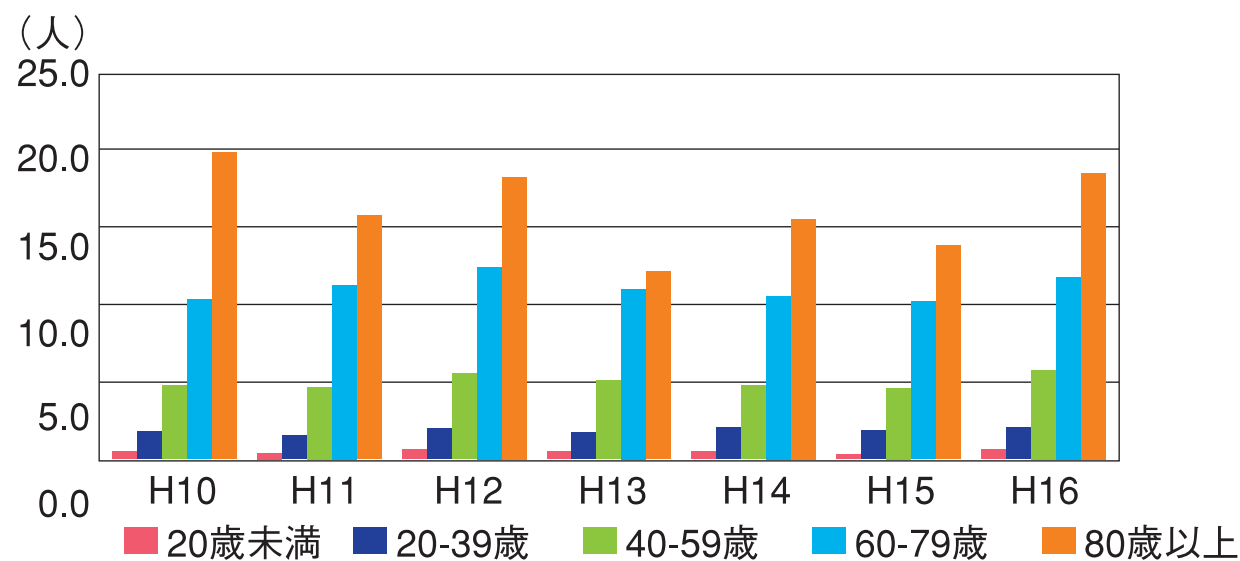


図 人口1万人あたりの転倒事故による年齢別救急搬送者数の推移 (札幌市消防局資料による)

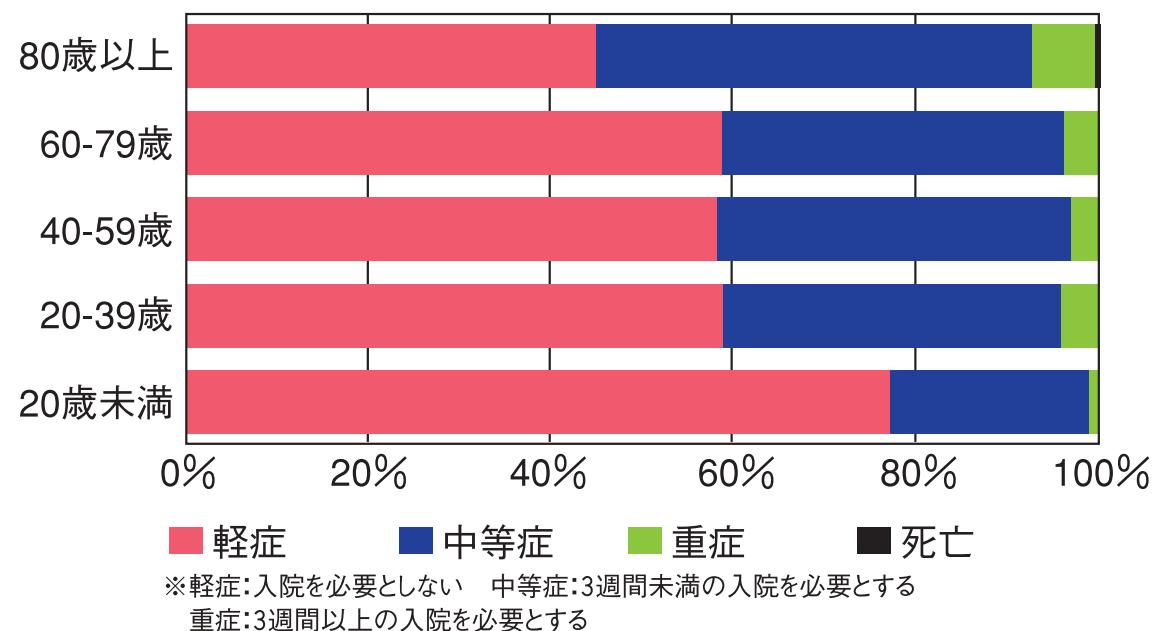


図 年齢別の転倒事故によるケガの程度 (H8~H17累計) (札幌市消防局資料による)